

日本語の魅力

平成19年度 名古屋大学大学院国際言語文化研究科公開講座

書店に足を運ぶと日本語についての関心が近年とみに高まっているように見受けられます。しかし、毎日親しく使っているのに、箸を使ったり車を運転したりするような無意識の活動となっていて、意識的な考察を加えることはほとんどないのではないのでしょうか。日本語に対する関心が高まっているこの機に、言語学、日本語教育、文化研究、認知科学などの専門家に、日本語という言語について、様々な角度から論じてもらい、その魅力を再認識されてみてはいかがでしょうか。

- | | | |
|------|---|--------|
| 第1回 | 6月13日(水)
■日常言語に潜む比喻・言語と認知 | 初山 洋介 |
| 第2回 | 6月15日(金)
■戦後詩における比喻表現の高度化と秘教化
— その多様化の軌跡を概観して | 柴田 庄一 |
| 第3回 | 6月20日(水)
■インターアクションから学ぶ日本語 | 池田 佳子 |
| 第4回 | 6月22日(金)
■日本語の形式名詞の諸相 | 奥田 智樹 |
| 第5回 | 6月27日(水)
■明治期の翻訳恋愛小説に見る恋の表現 | 前野 みち子 |
| 第6回 | 6月29日(金)
■スタンダード・ムーブメントと日本語教育のパラダイム変化 | 衣川 隆生 |
| 第7回 | 7月4日(水)
■日本近現代詩における雅語美文 | 涌井 隆 |
| 第8回 | 7月6日(金)
■ことばの不思議と学習の楽しみ | 小坂 光一 |
| 第9回 | 7月11日(水)
■日本語教育のための日本語文法 | 杉村 泰 |
| 第10回 | 7月13日(金)
■日本語の移動表現 | 鷲見 幸美 |
| 第11回 | 7月18日(水)
■知覚の偏り、判断の偏り | 外池 俊幸 |
| 第12回 | 7月20日(金)
■明治翻訳語の面白さ | 福田 真人 |

開催期間:6月13日(水)から7月20日(金)まで 毎週水・金曜日 全12回

開講時間:18:30~20:00

受講対象者:一般社会人、大学生、大学院生

募集人数:60名(先着順)

受講料:8,200円(募集要項に入っている「納入依頼書」により郵便局へ払込)

開催会場:名古屋大学 東山地区 文系総合館7階カンファレンスホール

申込締切:5月31日(木)まで[必着]

申込方法:郵送に限ります。詳しくは募集要項をご覧ください。

要項の請求:募集要項の必要な方は、名古屋大学国際言語文化研究科棟1階の事務室まで直接お越し頂くか、または、返信用封筒(80円切手貼付のこと)を同封の上、下記申込先まで請求して下さい。

申し込みと問い合わせ先

名古屋大学文系事務部教務・学生グループ(国際言語文化研究科担当)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL:052-789-5245・4833[AM9:00~PM5:00] FAX:052-789-4873

ホームページ:<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/events/2007/kokaikoza-2007.pdf>